

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 3月 15日

事業所名 こどもプラス久留米教室

		チェック項目	評価			改善目標、 工夫している点など
			はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	5			法令に沿ったスペースを確保しています。また、教室内に落ち着ける別室も確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をしている場合は基準を満たしているか）	5			基準に適した人数を配置しています。保育士などの有資格者もおり、専門性を高めています。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	2	段差がないように工夫しています。
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付など）	1	2	2	床にはクッションマットを敷き、転倒時のけが予防としています。
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	5			日々の業務等職員間で話し合い、実践、振り返り、評価をミーティング時に行っています。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	5			年に一度、評価アンケートを実施し100%の回収を目指しています。保護者から頂いたご意見を職員間で共有し、業務改善に努めています。
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			集計した結果は、書面にて配布し、詳細についてはHPにて公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	外部評価の実施は行っていないですが、今後検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			会社全体の研修に参加しています。コロナ禍で外部研修も減っていますが、ZOOMで可能な限りは参加するようにしています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			契約時と、年に一回、アセスメントを更新しています。保護者のニーズを聞き取りながら、計画書に反映しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4		標準化されたツールを使用しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			職員で提案し合いながら、意見をまとめて立案しています。話し合いを大切にしています。
	13	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5			その日の利用者の特性に合わせて、プログラムを組み立てています。また、運動研修で習得した内容を取り入れるように工夫しています。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5			コロナ禍で外出イベントなどに制限があるが、できる限り季節に応じたイベントを計画しています。スケジュールは事前に起案書を作成し、内容を決めています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			一人ひとりの特性に合わせて、個別対応や集団活動への取り組みなどを行っています。
	16	支援開所前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎日、提供時間前にスケジュールの確認をしています。また、児童の前日の様子や報告等も行っていきます。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	5			翌日に申し送りの時間を設け、情報共有を図っていますが、急を要する場合には臨時のミーティングを行っています。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			その日にあった注意事項等を記入するようにし、そのうえで支援内容や方法を検討しています。
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			半年に一回、もしくは三ヶ月に一回モニタリングを実施し、児童や家族のニーズに合っているか、判断しています。また、その他必要に応じてミーティングをして見直しをしています。
	20	安全に運動遊びができるよう用具の使用方法や支援方法等に工夫や配慮をしているか？	5			運動研修などを通して、運動用具の使い方や安全性、補助の仕方などを学んで実行しています。
	21	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか？	5			一人ひとりの特性を理解したうえで、できることを模索しながら支援にあたっています。
22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	5			ガイドラインに沿って支援を行っています。	
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			管理者や児童発達支援管理責任者など、担当職員が参加しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			送迎の引き渡し時に先生との情報交換を行ったり、学校のHPなどでも確認しています。変更の際にはメールや電話連絡をいただいています。	
	25	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4		1	必要時には管理者が連絡を取り、関係者会議などを通して体制を整えています。	
	26	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	4		1	定期的に保護者に変更がないかを確認しています。	
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			事前に担当者会議などで情報交換を行っています。また、コロナ禍で開催が難しい場合は書面や電話にて情報を頂いています。	
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	1	保護者や本人よりその後の様子や就職先の近況、生活面の連絡を行っています。	
	29	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			研修などを通じて助言をいただいています。	
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか			1	4	現在はコロナ禍により難しい状況です。
	31	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか				5	コロナ禍ということもあり、現在は参加できていませんが、コロナが明けた際には参加していきたいと思っています。
	32	写真付の連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	5			来所時には写真付きで児童の様子を伝える連絡帳を作成しています。また、引き渡し時にも利用の様子を具体的に伝えるようにしています。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時や電話、LINEなども活用して、日々連携をとっています。	
34	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		1	モニタリングや電話相談を受ける中で、寄り添って問題や課題に対応しています。		
35	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			見学時に支援内容を説明し、契約時に重要事項、契約書を用いて丁寧に説明を行っています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
保護者への説明責任等	36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			送迎時に家庭での様子や気になることもうかがっています。また、電話での相談も管理者が窓口になり対応しています。
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	コロナ禍により控えています。
	38	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情担当窓口を設置し、相談があれば改善に向けて迅速に対応するよう心掛けています。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			毎月お便りやイベントのご案内やお知らせを配布しています。また、連絡帳には写真を貼ってわかりやすくお知らせしています。
	40	個人情報に十分注意しているか	5			鍵付き書庫にて個人情報の保管を行うなど、徹底しています。また、写真や送迎表などは業務終了時に確実にシュレッダーをかけています。
	41	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	5			契約時に保護者に説明して、写真の使用について同意を得るようにしていますが、HP等への掲載は行っていません。
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			児童に合わせて、ジェスチャーやイラスト等で伝えることもあります。連絡帳で伝えきれないことについては直接保護者に電話連絡するようにしています。
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			2	3
非常時等の対応	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			年2回、いろいろな災害を想定した訓練を実施しています。防災グッズの見直しも、定期的に行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			研修を受講し、支援に活かすために情報共有、防止に努めています。また、職員全員、チェックリストを記入するなどしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	5			現在は該当者がいませんが、やむを得ず必要な場合には、計画書に記載し保護者に説明をして理解を得ています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			1
49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				作成し、事業所内で共有して改善に繋げています。ミーティングにて防止策の検討も随時行っています。